

「お授戒について」一、

4月の花園会総会でもお伝えしましたが、来たる令和二年十一月十九日には玉藻公園「飛雲閣」にて四国東教区の親化授戒会^{しんけいけい}が開催される予定です。親化授戒とは妙心寺の管長^{げいか}猊下^{げいか}が出向いて、直接全国の花園会員様に戒を授けて下さる授戒会のことです。大変得がたい機会ですので是非参加して頂きたいと思います。

ついでにはそもそも「授戒会」って何？と思われる方もいらっしゃると思いますので、今から少しずつ説明していきたいと思います。

「戒名って要るの？」

時々そんな話を見聞きます。「親がつけてくれた名前があるんだから、

それで良いんじゃない？」と思う方はそれでいいのですが、となると仏教式の葬儀や供養も行う必要が無いのです。

こういう説明もおかしな話ですが、キリスト教に入信する方は必ず洗礼を受けて、クリスチャンネームを頂きます。これはキリスト教の教えを信じ、死後は神様のいらっしゃる天国へ召されることを希望するからです。神様の前で教えを守れることを誓うのが洗礼式であり、神様との契約の証しがクリスチャンネームです。

授戒会も同じことです。仏教徒になるためには、戒師から仏弟子として戒律を授けて貰う必要があります。その戒律を頂く儀式が授戒会であり、授戒した証しとして戒名を頂くのです。

實相寺
花園会報

令和元年 六月一日発行
発行所 臨濟宗妙心寺派
陽明山 實相寺
實相寺花園会
〒761-0450
高松市三谷町
1811番地1
TEL087-889-3838
編集発行人 山本文匡
<http://www.jissouji.net>

第122号

「雲生山有衣」
くもしょうじてやまにえあり前禅昌寺住職 烟霞室^{えんかしつ} 磯部文保^{いそべぶんぽ} 大師

(大正七年〜平成十三年)

『人天眼目』^{にんてんがんもく}に「月落ちて潭^{ふち}に影無く、

雲生じて山に衣有り」とあります。月夜には川面に影が映りますが、月が隠れてしまえばあたりは真っ暗です。一方、雨が降れば雲が立ち上り、山も雲に覆われあたりは真っ白になってしまいます。

同じ自他区別のない平等の世界でも、自分を滅する時もあれば、自分が精一杯働いて行く時もある、という意味です。



「しあわせとおかげさま」①

また川崎市で通学途中の小学生を襲う痛ましい事件が起きました。2001年の大教大付属池田小事件を彷彿としますが、こうした事件が起きる度に思うのは、日本は豊かに見えるけれども実は言いようのない不満を抱えている人が多いのではないか、ということです。

国連は2012年6月28日に3月20日を「国際幸福デー」と定めました。その後、関係機関が2014年からほぼ毎年「世界幸福度報告」を発表していて、日本でも例年そのランキングが話題になります。が、相対的な順位よりも気になるのは主観的幸福度が下がってきていることです。この調査は幸福度を十段階で自己評価

したアンケートから平均値を割り出したもので客観的な数値ではありません。2019年の日本は156ヶ国中58位でしたが、幸福度は10点満点中5.886であり、人並みやほどほどを好む日本人の気質から考えると、それほど悲観的な数値では無いでしょう。ただこの数字は2013年の6.064以来ずっと下がりに続いているのも事実です。

かつて日本は「一億総中流」と言われましたが、2000年代初頭より格差社会になったと言われます。現在40歳前後の「就職氷河期世代」、またそれより少し上の「8050問題」など、格差・貧困・孤立の問題は孤独死にも繋がりがねない深刻な問題ですが、小子高齢化の今後、

それを社会保障制度だけで解決しようとするのは難しいでしょう。やはり一人一人の意識改革が必要だと思います。

関西学院大学の死生学者、藤井美和氏によれば「人はなぜ生きるのか」「何のために生まれてきたのか」「死んだらどうなるのか」など、科学では理解出来ない根源的問題からくる「たましい」の痛みを「スピリチュアルペイン」と呼ぶそうで、このスピリチュアルペインには「意味」と「関係性」の二つの領域があると言います。

まずこの「意味」というのは主観的な問いなので、自分で答えを見出すしかないそうです。確かに、例えばそれが家族であったとしても、誰かに「あなたの人生の意味とはこういうものですよ」と言わ

れて納得出来るものではありません。また他人が考える意味と自分の感じる意味では全く逆の場合もあるでしょう。

藤井氏の友人は、18年間寝たきりになったご主人を介護されたのだそうですが、ご主人が一度危篤になった際、その友人から「思えば最初に倒れてから16年の長きにわたり、身動き一つできず言葉も話せない苦しい中で、家族の生きる支えとなってくれたことは、どんなに感謝しても足りません」というメールが届いたそうです。これを読むとこの友人と周りの人達の見方が明らかに違うのが判ります。「当事者の世界観は、自分がその立場になった時に初めて分かると言ってもいいくらいです」と藤井氏は言います。